

新入園児を迎へんとして

新入園児を迎へる時が参りました。何れの幼稚園でも新しい御抱負の下にいろく御用意中の事と存ぜられますが此の時に當り諸幼稚園の、これが、御經驗、御計畫をうかがつてお互の参考とすることに致しました。學年末の多忙な折柄斯く多數の御寄稿をいただきまして感謝にたへません。

○ 大阪市場巢園 佐藤 満壽

新入園児を迎へる頃……私達保姆にとつて自らの職責を最もハッキリと意識させらるる時であります、そして送り出さんとする幼児に對して、保育された幼児として余りに其効果の少なきを嘆かされ、また、迎へんとする幼児に對して新らしく考を湧き起すのであります。新しくして自らの力の足らざることも辱じず次から次へと理想を描いて

は新入園児を迎へて居ます、かやうなわけでも『新入園児を迎へんとして』の愚見を申述べるとは少々氣恥づかしい思ひが致しますが兎も角小さやかなる當園の赤裸々なプランをお話し申し上げ「幼児の教育」のお求めにお答へし重ねて皆様方の御批判を仰ぎ度いと存じます。

當園はまづ、自然を對照として生理的・心理的・道徳的三方面の調和と統一に着想し自然及神の認識